



校長室の窓から

令和5年度 第22号 2月7日

立春が過ぎ、暦の上では春になりました。新聞やテレビでは、学年閉鎖や学級閉鎖のニュースが聞こえてきますが、おかげさまで本校では、今のところ、新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも流行していません。しかし、いったん感染症が入ると一気に流行しますので、今後とも、お子さんの健康管理と生活リズムの習慣をよろしくお願ひします。



さて、学校では、新入学児童を小学校に迎える準備が始まっています。

1年生と年長さんの交流学習

1月末に、1年生が幼稚園・保育園の年長さんを小学校に招待し、交流学習「なかよくべんきょうしよう」を行いました。国語の名刺作りで平仮名を書いたり、音楽で校歌を歌ったりしました。1年生一人一人がグループの年長さんに優しく教えている姿が印象的でした。年長さんも楽しそうでした。日頃、一番年下の1年生ですが、年長さんと並んでみると、やはり小学生だなと思いました。学校案内やはじめの言葉、インタビューの係等も担当の子供たちが責任をもってやり遂げていました。1年間の成長が伺えました。もうすぐ2年生になります。



『入学』というとても明るいイメージが先立ちますが、一緒に生活する友達が一気に増える、国語や算数等、初めて学習する教科があり座学が増える、登下校の仕方が変わるなど、当の本人たちにしてみれば、大きな環境の変化でもあります。中には、不安を抱いている子供がいても不思議ではありません。保育園や幼稚園の先生たちと、情報交換もよくしますが、実際に、子供たちが小学校に来て、小学校の教員の授業を体験する、小学校の教員や1年先輩の子供たちと顔見知りになるなど、入学前に小学校に慣れる経験は重要なものであると考えます。

交流後、ある園長先生から、ご丁寧な手紙をいただきました。その中には、「たくさんの刺激の中、1年生や先生方のお声かけで、有意義な時間を過ごしました」「帰りには、“楽しかった”“小学生と仲良くなれた”“学校へ行くのが楽しみ”と、嬉しそうに交流会の話が盛り上がっていました」「年長児と共に、貴校への入学を楽しみにしています」等、書いてありました。大変ありがたいことです。すぐに1年担任に伝え、1年生にも読んでもらいました。1年生も喜んでいただくと聞いています。頑張っておこなった交流学習に満足感をもつとともに、次の学習への意欲につながったと思います。

『子供の健やかな成長を願って』

2月1日(木)、令和6年度入学児童の保護者を対象に入学説明会を行いました。その折に本校のスクールカウンセラーの森田英宏先生に『子供の健やかな成長を願って』という演題でご講演をいただきました。入学児童のみならず、小学校全児童にも参考になるお話だったので、印象に残った言葉を紹介します。

- ・小学校時代は、大人が思う以上に子供に変化が出る時期である。
- ・思うこと(吸収する)に比べて発信する力が未発達。子供の視野は狭い。これくらい分かって当然だということが分からない。
- ・大人が許容範囲をどこに設定するかで、子供の成長に大きく関わってくる。その子によって、どこまで許容するか、許容しないかは違う。しかし、大人の気分でそれを変えてはいけない。

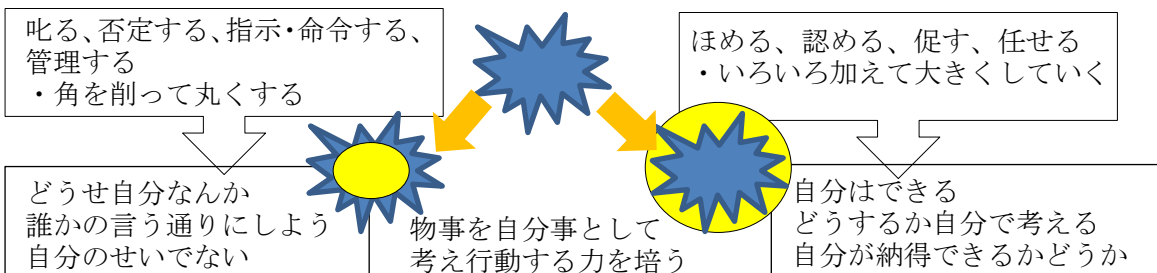


《事例1；犬が怖い》

- ・子供が「犬が怖いよ。行けないよ」と言っている。大人として何と言ってあげますか？「大丈夫！怖くないよ」は、無意識のうちに子供の気持ちを否定している。まずは、怖いという感情をきちんと受け止め、認めてあげることが大事。
- ・自分の気持ちを抑えて動くことができたとき、そのことをほめてあげる。

《事例2；迷子》

- ・子供が迷子になり見つかったとき、何と言いますか？子供がいなくなってから、見つかるまでの大人の感情は、「あれ、いない(驚き)」「無事でいて(不安・心配)」「どうしよう(混乱)」「ああよかった(安堵)」と変わる。「何でいなくなったの?」「心配したよ」ではなく、「見つかってよかった」と言ってほしい。
- ・子供は荒削りでアンバランスである。どう丸くしていくか？



- ・子供は日々変わっていく。日々成長する。子供の姿に一喜一憂するのが大人の常であるが、成長は望ましい姿より心配な姿として現れることが多い。不安になったら、子供をよく観る、深く知ろうとすることが大事。

「子供はアンバランス。どう丸くしていくか？」の話は、私もその通りだと思えます。「人の短所は、裏を返せば長所である」ということがよくあります。「お利口さん」であることが将来よい大人になるとは、必ずしも言えません。叱ることを否定しませんが、それよりも長所を伸ばすことで短所も包み込むような大きな人間に育てていきたいものです。私たち教員にも参考になるお話でした。森田先生は信頼できるスクールカウンセラーです。心配事がありましたら、森田先生を頼ってください。

(校長 曲師政隆)